



# Marianna Angels

2015.April

マリアンナエンジェルス通信 Vol.13

発行 聖マリアンナ医科大学ナースサポートセンター  
〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区管生 2-16-1  
TEL 044-977-8111(代)  
http://www.marianna-u.ac.jp/hospital/  
年 2 回発行

M.A通信 編集部  
Special Report!



看護管理者の  
マネジメント

## よりよい組織づくりを目指し、 看護の喜びを共有する「ナレッジ交換会」

発表テーマ「肝っ玉母さんを目指して」

大学病院 婦人科 木野 美穂さん(臨床経験 14年)

今までの看護や自分の育児を通して自分を振り返り、今、「実践し、大切にしていること」「目指していること」を発表しました。様々な師長・副師長より貴重なご意見や感想を頂き、「方向性は間違っていない」ことを再確認できました。また、自分に不足している師長としての「気づき、視点」の大切さに気づくことが出来ました。これこそが、私の掲げる「肝っ玉母さん」の意気です。ナレッジ交換会に参加し、看護管理者としての「新しい視点」を持って自分がとても元気になりました。

■後輩看護師育成のために

スタッフを信じ、出来ている事に対しては「承認している」と、伝えていく心がけていきたい。そして後輩にとって「安心できる存在」でありたい。

■目標

「自分のやりたい看護」「患者さんの求める看護」が実現でき、看護が楽しいと思える職場にすること。

発表テーマ「男性看護管理者が働くコツ」

横浜市西部病院 看護部 山口 義美さん(臨床経験 20年)

私が入職した頃、男性看護師は数名しかおらず、その存在が世間に認められるまでには様々な葛藤がありました。勤続20年を経て看護観が形成された今、管理者としての心構えや課題を伝えられたらと思います。ナレッジ交換会に臨みました。自分が進んできた道を振り返ることで後輩たちに「仕事を続けていくことへのヒント」を示し、女性管理者が男性看護師と関わる上で「お互いが期待している事や求めているもののズレ」を埋めることができれば、と考えました。交換会では、男性看護師の教育や成長の可能性などについて自由に話し合い、私自身も改めて20年を振り返る場とすることができました。

■後輩看護師育成のために

「可能性を最後まで信じる」こと

■目標

「感覚的・直観的な」自分が、「批判的・論理的な」視点を持てるようになることです。



「ナレッジ交換会」とは、“4病院1施設の師長・副師長が“知”(知識・経験・技)の情報の交流を図り、マネジメントに活かす”ことを目的に、2011年度より年1回開催されています。多くの師長、副師長が「自分の強み 伝えたいワザ」をエントリーし、うち14名が「ナレッジワーカー」に選ばれました。交換会では、ワーカーの思いに共感するとともに、自らの実践に引きつけながら意見交換を行い、最後にワーカーに統括看護部長より「認定証」が贈られました。今回、5名の発表内容や、看護師育成の心構えをレポートしました。



発表テーマ「3つの技でチームの輪を築く」

川崎市立多摩病院 救急災害医療センター 馬場 雅樹さん(臨床経験 13年)

今年、副師長になって他者との関係に悩んだ結果、「聴くこと」「共に動くこと」「客観的になること」が、改めて大切だと気がつきました。この3つを意識して他者への関わりを繰り返すことで信頼関係が出来ます。そうすれば、協力して様々なことに挑戦できる「チームの輪を築く」ことができると考えます。交換会では、参加者がお互いの意見に対して実体験に置き換えながら話し合うことで、様々な考え方・やり方などの技を知り、理解できました。今後この「技」を管理職として参考にしていきたいと思えます。

■後輩看護師育成のために

相手の話を聴くことに意識し、また伝える時には、自分も一緒に行動する(共に動く)。仕事から離れた時には、自分の言動を客観視して振り返ります。

■目標

常に自分の言動を振り返り意識的にコミュニケーションを図ること。スタッフ達と協力して患者さんへ質の高い看護を提供することです。



発表テーマ「いつでも患者を中心に」  
～ぶれない思いが管理の支えに～

東横病院 ICU・CCU/ER 木村 保美さん(臨床経験 20年)

前任の師長から「部署内の看護に責任を持つこと」と言われましたが、現状の看護体制では難しいと感じました。価値観や経験が異なるスタッフたちと、どのような組織を作ればいいのか…。そこで自分の考えと違いがあるからこそ看護の多様性が生まれると考え直しました。①自分の看護の思いを伝え、方向性を共有する②ひとりで困難を抱えず、他の意見を求める③患者さん中心のぶれない看護、を目標にチームで努力しています。この発表のおかげで、自分の原点とマネジメントを再認識できました。

■後輩看護師育成のために

「患者を中心に考えること」を伝え、症状や疾患に注目するだけでなく、「患者さんの思いに寄り添える」看護師になって欲しいと思います。

■目標

多忙の日々でも、師長として看護の喜びを共有できる組織を作りたい。自分の経験と思いを語り、スタッフとともに今の看護を語っていききたい。



発表テーマ「多職種カンファレンスの導入」  
～医療チームの要になるう～

東横病院 3階病棟 循環器内科 河原 寛美さん(臨床経験 14年)

情報不足のため医療チームがまとまっていない現状をみて、どうしたら情報を共有できるかを考え、多職種チームにおけるカンファレンスを導入しました。当初は大変でしたが、現在は医師・病棟看護師・退院支援看護師・MSW・リハビリ・薬剤師(依頼時)が参加し、情報収集・交換・共有しディスカッションしています。互いの専門性を尊重しながら同じ目標を持って話し合うことで患者さん中心の医療を提供できるようになりました。もちろんそこでの看護師の役割は、各職種間のキーパーソンです。

■後輩看護師育成のために

本人の気持ちや意見を聴き、出来ていることを認め、どのように成長してほしいかを伝える。日々のコミュニケーションを大切に、後輩が相談しやすい存在でいたい。

■目標

チーム医療の要となる看護師の育成と、自分もスタッフも楽しい看護が進められる病棟作りができるように頑張りたいです。



## 私の病院自慢

### ベストスタッフ賞をいただいて

脳神経外科病棟で働き、6年の月日が経ちました。今回、初めてベストスタッフ賞をいただくこととなり、感謝の気持ちでいっぱいです。働くなかで、個々の患者さんの希望や思いを汲み取り、その気持ちに寄り添った看護を日々考えて過ごしています。忙しい業務のなかでも、患者さんが少しでも、本当の思いを口に出せるような雰囲気が、8東病棟にはあると思います。今、そんなスタッフに囲まれながら働けることを誇りに思います。

8東病棟 6年目 植松 奈々



大学病院



### チーム医療のシンボルマーク

スタッフの絆をより深いものにするため、西部病院にはチームや病棟のシンボルマークがあります。例えば、積極的治療と慢性期の治療、そして終末期のケアが混在する5階北病棟のシンボルマークは、病棟の「目指すもの」が方位磁針で描かれており、「その人らしさ～LOVE～と安全～PEACE～」を大事にしたいという思いが込められています。他にも、各病棟のスタッフステーション前にシンボルマークが掲示してありますので、一度見に来てください。

看護部人材確保担当 島守 可奈恵



西部



### 歴史のある、新しい街…。武蔵小杉

当院は、東急東横線武蔵小杉駅から徒歩3分の商店街にあります。昼間は主婦、夜は仕事帰りのサラリーマン・OLが行き交う街で、ちょっと風変わりな風景ですが、病院の歴史は古く昭和22年からこの地で医療活動を行っています。急性期病院に特化した領域の診療で、私たち看護師はやりがいを感じながら日々頑張っています。タイムカードを押して5分後にはお店で乾杯して今日の疲れを癒しています。また、近くにはショッピングモールもあり生活に困らない環境が整っています。勤務後、先輩や同僚と過ごす時間が私にとっての気分転換となり、明日の活力につながっています。

4階病棟 清野 奈々恵



東横



### 実り多いランチョンミーティング

多摩病院には、ランチョンミーティングという院長や看護部長と豪華な食事を食べながら談話する会があります。主に入職してからのことや、職場のよいところや困りごとがないかなどを話します。始めは緊張でなかなか話することができなかつたりしましたが、院長や部長が場を和ませてくれ、最後はたくさんのお話をすることが出来ました。院長や部長が直接職員の話に耳に傾けてくれる素敵な病院に入職できて本当によかったと感じました。

3東(小児)病棟 田中 由似  
※写真右端ピンクのユニフォーム



多摩



大学病院

# 復旦大学(中国・上海)看護学院 聖マリアンナ医科大学病院見学の報告



聖マリアンナ医科大学は、平成26年4月に上智大学と包括連携に関する協定書を締結しました。7月からは、大学病院で上智大学看護学科の病院実習を受け入れ、大学間の交流を密にしています。去る1月29日(木)、上智大学と協定締結をしている中国、復旦大学の看護学生29名が聖マリアンナ医科大学病院見学を訪れ、大学間の包括連携の産物として中国の看護学生研修を受け入れる機会に恵まれました。研修の目的は日本の大学病院を見学し、最先端医療を知ることです。院内で中国語を第二言語とする看護師の協力のもと「おもてなし」の演出を行い、上智大学の教員と協力しながら当日を迎えました。当日は、理事長、学長、病院長、副院長・看護部長総出で皆様をお迎えしました。「外来から入院、そして退院の流れ」を説明しながら院内見学をしました。学生の皆さんは、積極的な姿勢で見学をされ、日本の医療についての知見を深めていました。なかでも救命救急センターでは、トリアージ後の対応や超急性期にある患者さんへの看護について質問がありました。皆さんからの質問は、とても重要な内容の質問であり、返答する私たちも深く考えるきっかけとなりました。



大学病院 看護部副部長 和田 由樹

## マンガでGO! 看護管理者集合! ナレッジ交換会



“生き生きと働くためのマネジメント”ナレッジ交換会は、聖マリアンナ医科大学4病院1施設の師長・副師長が集まり、組織・チームの業務改善に向けて「知」「技」の情報を発信しています。それぞれ共感できるテーマのもと活発な意見が交換され、後輩育成のために役立っています。

西部病院

## フットケア外来で 糖尿病患者さんの足を守っています!

糖尿病による神経障害が進行すると足病変(足潰瘍や壊疽)を生じやすく、感染や血行障害が伴うと重症化し下肢切断せざるを得ない場合があります。足病変の予防は重要です。当院の糖尿病外来患者数は年間7~8%増加し月間約1300名であり、足病変リスク患者も年々増加しています。そこで平成26年10月より糖尿病フットケア外来を開設し、足病変予防に取り組んでいます。フットケア外来では医師から依頼された糖尿病患者さんの知覚、運動神経、血流障害、足病変の兆候の有無や状態を評価し、ケアと指導を行っています。受診者の多くは巻爪、肥厚爪、胼胝(たこ)、鶏眼、角質肥厚などを伴っています。これら足のトラブルの要因を患者さんと共に考え、セルフケアや改善の支援を行うのがフットケア・ナースの役割です。足のトラブルや痛みを主訴に受診された患者さんが再診時には笑顔を取り戻し、セルフケアに向けて前向きに取り組まれている姿を見ることに、やりがいを感じています。



フットケア外来担当 西出 薫

多摩病院

## 新電子カルテシステム 導入にあたって

今年1月に当院の電子カルテシステムが更新されました。昨年10月下旬からの短い準備期間でやれることを検討し、業務を行う上で最低限必要な操作を病棟スタッフが習得できるように調整し、移行時のチェック表も作成して1月を迎えました。更新直後は、パソコンの操作や運用についての混乱もあり、業務が滞ることもありました。疑問・変更項目を病棟内で共有できるようにし、業務の見直しも行うことで、新しいシステムに徐々に慣れていきました。まだまだ、使いこなせていない部分もありますが、ペーパーレスになることや、ベッドサイドでパソコンを操作できるなどの利点をいかし、よりよい看護に繋げることができると感じています。



5 東病棟 富野京子

東横病院

## それぞれの分野で認定看護師の役割を發揮!

当院には4名の認定看護師がいます。領域は感染管理2名、慢性心不全看護1名、集中ケア1名です。感染管理認定看護師のうち1名は専従で組織横断的な活動を行い、集中ケアと感染管理認定看護師各1名は、集中治療室で重症患者のケアを行っています。慢性心不全看護認定看護師は、病棟内でメンバーと共に急性期から退院までの総合的な患者ケアの実践に取り組み、それぞれが役割を發揮しています。また、専門活動として月1回半日の活動時間が設けられ、活動実績・課題等の検討、情報の共有後に各部署のラウンドを行い、看護ケア、管理などの相談に対応しながら支援をしています。平成27年度からは、Nursing Care Supportチーム(NCS)として、学習会の開催やコンサルテーションを積極的に進めていきます。認定看護師は、まだ少数ですが自己研鑽を重ねながら、それぞれの分野で協働して力を發揮し、看護ケアの充実に努め、急性期病院としての質向上に向けて取り組んでいきます。

ICU・CCU・師長 木村 保美



## 夏季インターンシップ参加お待ちしております!

聖マリアンナ医科大学4病院では、看護学生等の皆さんが病院の現場にて就業体験する、インターンシップを以下の要領で実施いたします。ご自分の将来について考える機会として活用していただきたく、皆さんの参加をお待ちしております。

1. 参加対象者(夏季): H27年・H28年3月卒業見込みの看護・助産師学生
2. 宿泊希望者は、前泊で寮が使用できます(無料)
3. 4病院で複数病院の参加可能です(各病院1回)
4. インターンシップ前日の13:00~15:00に、他1病院の見学も可能です
5. 交通費を片道分支給します

※インターンシップ終了後(当日)採用試験の受験が可能です

### 聖マリアンナ医科大学病院

8/4(火)・7(金)・11(火)・21(金)・25(火)・28(金)  
9/1(火)・4(金)・19(土)AM

### 聖マリアンナ医科大学 東横病院

1日コース: 8/12(水)・19(水)・26(水)・29(土)  
9/2(水)・9(水)・12(土)

### 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

7/28(火)・29(水)・8/4(火)・5(水)・11(火)・12(水)・13(木)  
8/19(水)・20(木)・22(土)

### 川崎市立多摩病院(指定管理者: 聖マリアンナ医科大学)

7/29(水)・31(金)  
8/5(水)・7(金)・8(土)・12(水)・19(水)  
8/21(金)・22(土)・26(水)・28(金)  
9/2(水)・4(金)

## 大学病院 リニューアル!

新病院テーマ  
選ばれる病院  
~人・社会・未来から~

多様な高次機能を備え、  
人に優しく、働きやすく、  
社会の変化に  
柔軟に対応できる  
未来志向型病院へ

## 掲示板

### 2015就職説明会・施設見学会

病院見学・説明会に関しましては  
下記以外の日程も対応しております

#### 大学病院

10:30~12:00  
4/11(土)・25(土) 5/9(土)・23(土)  
6/13(土)・27(土)  
7/11(土)・25(土)  
8/8(土)・22(土)  
9/12(土)・26(土)  
10/24(土) 11/14(土) 12/12(土)  
1/23(土) 2/27(土) 3/12(土)

#### 東横病院

10:30~12:00  
4/11(土)・25(土) 5/13(土)・23(土)  
6/10(土)・27(土) 7/8(土)・25(土)  
8/8(土)・26(土) 9/9(土)・26(土)  
10/7(土)・24(土)  
11/11(土)・28(土) 12/9(土)・12(土)  
1/13(土)・30(土)  
2/10(土)・27(土) 3/12(土)・23(土)

#### 横浜市西部病院

10:30~12:00  
4/15(土)・25(土)  
5/9(土)・30(土)  
6/13(土)・24(土) 7/11(土)  
8/8(土) 9/12(土)・30(土)  
10/31(土) 11/14(土) 12/12(土)  
1/23(土) 2/13(土) 3/26(土)

#### 川崎市立多摩病院

9:30~11:30  
4/25(土) 5/23(土)  
6/27(土) 7/11(土)・22(土)  
8/8(土)・19(土) 9/12(土)  
10/24(土) 11/28(土)  
12/12(土) 1/23(土)  
2/13(土) 3/12(土)



携帯ホームページをご参照ください。 <http://mobile.marianna-u.ac.jp>

### 2016年度採用試験 開催時間

●聖マリアンナ医科大学 教育棟 ▶ 10:00~12:00  
●現地各会場 ▶ 13:00~16:00

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
聖マリアンナ医科大学 教育棟	25	9	13	11	8	12	24	14	12	23	27	12
福岡		23		25			24					
札幌				11								
仙台				11			24					
小倉						22						
沖縄												
八戸							5					
盛岡							12					
高知							26					
弘前							26					
宮崎									3			
鹿児島									3			
												17

詳しくは人事課(聖マリアンナ医科大学) 044-977-9316(直)まで。